

救護施設 真和館



令和8年6月26日（金）

(法人 概要)

- 法人名 : 社会福祉法人 致知会
法人認可 : 平成17年(2005年) 10月 7日
法人設立 : 平成17年(2005年) 10月11日
役員等 : 評議員9名、理事6名、監事2名
法人の目的 : 救護施設の経営(真和館)
養護老人ホームの経営(あそ上寿園)

(真和館 概要)

- 施設名 : 救護施設 真和館
施設の認可 : 平成18年(2006年) 4月28日
入所定員 : 50名(常時55名で推移)
職員数 : 29名(令和8年4月1日現在)
敷地面積 : 9,548㎡(2,893坪)
建物延床面積 : 2,008.56㎡(608坪)
部屋数 : 1人部屋62室、2人部屋 1室
施設の特徴 : ①アルコール依存症からの回復支援
②精神障がいの方が安心して暮らせる施設
ロケーション : 阿蘇の外輪山の裾野(西原村)の丘の上にあり、都会の喧騒から離れた、自然豊かな場所にあります。(熊本市中心部から約50分)



入所者の状況

入所者状況（令和8年4月1日現在）

<障がい区分状況>

	身体障がい	知的障がい	精神障がい	重複障がい			生活障がい	合計	(内アルコール依存症)
				身体障がいと知的障がい	身体障がいと精神障がい	知的障がいと精神障がい			
男	2	4	34(9)	0	1	4	7	42	(25)
女	0	1	12(7)	0	0	1	1	13	(4)
計	2	5	46(16)	0	1	5	8	55	(29)

※身体(3級以上)・知的・精神障がい(3級以上)の数は手帳所持者の数であり、合計とは一致しない。

※精神障がいの()内は統合失調症者の数である。

※生活障がい者とは手帳は所持していないが、地域で生活できない人(業界用語)。

* 真和館入所者の特徴

1. 入所者55名の内、**手帳所持者が47名（約8～9割）**で**精神障がい**をお持ちの方が多い
2. 入所者55名の内、**アルコール依存症者が29名（約5割）**

入所者状況（令和8年4月1日現在）

	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～69	70～79	80～	合計
男	0	0	5	7	9	5	11	5	42
女	0	0	4	2	0	2	3	2	13
計	0	0	9	9	9	7	14	7	55

平均年齢

男) 66歳 10ヶ月

女) 60歳 11ヶ月

全体) 65歳 5ヶ月

* 真和館入所者の特徴

高齢化が進捗中（令和8年度は若干若返り）。

令和2年：62歳8ヵ月 ➡ 3年：63歳4ヵ月 ➡ 4年：64歳2ヵ月

5年：65歳3ヵ月 ➡ 6年：66歳3ヵ月 ➡ 7年：66歳0ヵ月

8年：65歳5ヵ月

退所者状況

H18/4/28～R8/3/31

退所者状況

	就職	地域	他施設	精神科入院	他入院	死亡	その他	合計
18年度	0	1	1	3	2	1	3	11
19年度	0	3	2	3	0	1	1	10
20年度	0	7	3	3	1	3	2	19
21年度	0	1	4	4	0	4	0	13
22年度	0	1	3	2	5	2	1	14
23年度	0	2	2	2	2	1	2	11
24年度	1	3	2	1	1	1	0	9
25年度	0	4	1	1	0	3	0	9
26年度	0	1	3	3	1	0	1	9
27年度	0	2	0	5	0	2	0	9
28年度	0	2	2	3	0	1	0	8
29年度	0	1	3	2	1	1	0	8
30年度	0	3	4	1	0	0	0	8
31年度	0	1	5	0	0	1	1	8
令和2年度	0	3	0	6	0	2	0	11
令和3年度	0	6	1	1	1	1	4	14
令和4年度	0	6	0	0	2	2	0	10
令和5年度	0	2	1	0	0	6	0	9
令和6年度	0	2	0	2	2	0	1	7
令和7年度	0	1	3	1	1	1	1	8
合計	1	52	40	43	19	33	17	205

うち、アルコール

0 31 14 20 12 13 10 100

1. 毎年10名前後の退所者
(平成20年のみ19名と多い)
2. 退所者全体205名のうち、地域移行者は52名(約25%)
3. 退所者全体のうち、アルコール依存症者は100名(約49%)
4. 地域移行者52名のうち、アルコール依存症者は31名(約60%)

施設の特徴

1. アルコール依存症からの回復支援
2. 精神障がいの方が安心して暮らせる施設を目指して

施設の特徴

1.アルコール依存症からの回復支援

*** 飲まない飲ませない取組から、地域に出ても飲まない取組へ**

① 飲まない環境づくり(各種学習会、県内外のアルコール関連行事への参加等)

② アルコール依存症回復支援羅針盤

(なぜアルコール依存症になるのか、基本体系・心身の変遷・支援の勘所・評価・ARP、やさしいARPの策定)

③ ピアカウンセリング

④ 心理面接(外部の公認心理師が実施)

⑤ アルコール専門病院や自助グループ等との連携

⑥ 居宅生活訓練事業

⑦ 通所事業(令和8年度より開始)

⑧ 訪問指導事業(独自)

⑨ クロスアディクション・併存障がい対策

⑩ 内観療法(7泊8日の集中内観(指宿竹元病院、三和中央病院)、日常内観)

⑤真和館 アルコール依存症回復プログラム（ARP）

令和5年10月1日作成（改訂5版）

項目		内容					
I	断酒の誓い	断酒の誓い (毎朝 9時00分) 毎朝、アルコール依存症の入所者が2階談話コーナーに集まり、全日本断酒連盟の「断酒の誓い」を全員で唱和しています。					
	タベの集い	タベの集い (毎夕 17時10分) 毎夕、アルコール依存症の入所者が2階談話コーナーに集まり、アルコール依存症からの回復プログラムであるアルコホーリクス・アノニマス（AA）の「12のステップ」と「平安の祈り」を全員で唱和しています。					
II	ミーティング	真和館アルコールミーティング (毎週水曜日 10時15分～11時30分) 司会は職員が行い、アルコール依存症の書籍を使い、テーマミーティングを行います。					
		アルコールメッセージミーティング (第1・3火曜日 10時15分～11時30分) AAなごみグループ（第1火曜日）・AA熊本さくらグループ（第3火曜日）AAメンバーがミーティングの司会をされ、テーマミーティングを行っています。					
		アルコール特別ミーティング (毎週第2・4火曜日 10時15分～11時30分) 司会は入所者が行い、ハンドブックの読み合わせとテーマミーティングを行います。					
		しらゆりの会（女性ミーティング） (毎週木曜日 15時15分～16時15分) 司会は入所者が行い、AAや断酒会の冊子の読み合わせ後に、テーマミーティングを行います。 (資料：『どうやって飲まないでいるか』AA日本ゼネラルサービス版、『夜明けまでの長い旅III』全日本断酒連盟版、Be!「アスク・ヒューマン・ケア」版など)					
III	学習 1 (導入)	HAPPYプログラム（国立病院機構肥前精神医療センター版） (随時) 入所後、AUDITスクリーニングテストを実施、学習を行い早期介入を行う。		自助グループからの体験談を聞く (随時)	アルコール依存症学習会（場所：あそ上寿園） (毎月第4土曜日 14時～15時)	アルコール地域セミナー (阿蘇市で毎年11月に開催)	
	学習 2 (知る)	(毎週月曜日 10時15分～11時30分) DVD学習（アルコール依存症や依存症関連）		映画学習（アルコール依存症や依存症関連）	テキスト学習（『アルコール依存症を知る』）		
	学習 3 (グループワーク)	(毎週木曜日 13時10分～14時) アルコール依存症再発防止プログラム（赤湯精神病院版） アルコール依存症＜回復ノート①＞「酒のない人生」を始める方法		SMARPP「薬物・アルコール依存症からの回復支援ワークブック」 アルコール依存症＜回復ノート②＞「飲まない幸せ」を手にする方法（ASK編）			
	学習 4 (内観) (カウンセリング)	一日内観（月1回随時）		日常内観（日々の振り返り）	集中内観 (指宿竹元病院または三和中央病院で実施される 7泊8日の集中内観に派遣)	内観懇話会（九州、熊本） (随時)	
		30分間ラポール(カウンセリング) (随時)		ピアカウンセリング (随時)	個別カウンセリング（和田登志子先生） (第1・第3水曜日 14時00分～16時40分)		
	学習 5 (生きる力を養う)	心の健康教室 (毎週月曜日 13時10分～14時00分)		心みがきの読書会 (毎週金曜日 10時15分～11時30分)	心みがきの講演会 (年4回講演会のうち、アルコール関係講演会を年2回実施)	外部講師による講演会 (年に2～3回随時)	
	学習 6 (個別学習)	(随時) 森田療法 アンガーマネジメント		高次脳機能障害	LGBTQ+	ADHD	双極性障害 統合失調症 強迫性障害 他
学習 7 (オンライン学習)	(随時) アルコール依存症 薬物依存症 ギャンブル依存症 強迫性障害						
IV	外部機関や自助グループ等への参加	KUMARPP(熊本県精神保健福祉センター) (毎月第2・第4火曜日)		益城病院院内断酒会 (毎週火曜日)	菊陽病院院内女性ミーティング (毎週木曜日)	菊陽病院OB断酒会 (毎週火曜日)	
	外部の大会・学習会への参加	各AAグループへの参加 各断酒会への参加		GA NA 熊本ダルク	熊本ダルク家族会	行動変容グループ WRAP (いずれも随時)	
V	クロスアディクション対策	真和館薬物ミーティング 司会は職員が行い、N Aの書籍の読み合わせやDVD等の映像を用いてテーマミーティングを行います。(第1・第3火曜日 13時～14時)					
		真和館ギャンブルミーティング 司会はG A熊本グループの方が行い、G Aのミーティングハンドブックを使ったテーマミーティングを行います。(第2・第4火曜日 10時15分～11時30分)					
		心のオアシスタバこの会 (隔月1回)	買物依存症 (随時)	クレプトマニア (随時)	SAT-G (月1回全6回) ※鳥根果作先生のギャンブル依存症のテキスト学習		
VI	併存障がい対策	依存症の方で併存した障がいをお持ちの方に対して、各人の障がい（発達障害・双極性障害・強迫性障害・高次脳機能障害・知的障害(スイートピーの会)・統合失調症(ひまわりの会)など）に応じた学習会 高機能自閉症・アスペルガー当事者会シェアハート					
VII	居宅生活訓練等	社会復帰に向け地域のアパートで「居宅生活訓練」を実施する（1年～2年）		訪問指導事業（通所者のサポート・不定期）	就労準備訓練事業（紙貼り作業・清掃作業）	職場体験	

真和館の1週間の流れ

月曜日:入浴、散髪(第3週)、調理訓練(月1回)、就労準備訓練
真和館アルコールDVD鑑賞学習会、心の健康教室

火曜日:入浴、卓球バレー

心みがきの読書会(第1週)、アルコール特別ミーティング(第2、3、5週)
メッセージミーティング(アルコール(第1週)、キャンブル(第2、4週))、GA熊本グループ(第3週)
真和館薬物ミーティング(第1、3週)、益城病院断酒会(第2、3、4週)
KUMARPP(@熊本県精神保健福祉センター)(第2、4週)

水曜日:シーツ交換、居室清掃、就労準備訓練

ぐりーんぴーS(アルコール・薬物依存症学習会)、心理劇(月1回)
ソーシャルスキルトレーニング(月1回)、和田先生個別カウンセリング(第1、3週)

木曜日:入浴、歩こう会(ウォーキング)、山登り(月1回)

スイートピーの会(知的障がい者学習会)(第1、3週)
女性アルコールミーティング、菊陽病院女性ミーティング
AAさくらグループミーティング(第1週)、AA健軍グループミーティング(第2、4週)

金曜日:入浴、買い物(イオン、コスモス)、就労準備訓練

ひまわりの会(統合失調症学習会)、個別学習

土曜日:合唱クラブ、映画鑑賞会

心のオアシスタバコの会(隔月第4週)、あそ上寿園アルコール学習会(第4週)

日曜日:合唱クラブ、ニチレクボール・輪投げ、歌おう会(カラオケ)

＜アルコール依存症からの回復支援＞

①内部学習会

- ア.動画で分かりやすく→「真和館アルコールDVD学習会」
- イ.«聞く・語る»の訓練→「真和館アルコールミーティング」
「真和館女性アルコールミーティング」
「アルコール特別ミーティング」
「アルコールメッセージミーティング」
- ウ.対処法を知る → 「ぐりーんぴーS(認知行動療法)」

②外部から講師を招いての学習会

- 外部から講師(精神科医、大学教授等)をお招きして、入所者様・職員ともにアルコール依存症について学ぶ

③自助グループ・外部のアルコール関連行事への参加

- ア.アルコール専門病院主催の行事
- イ.自助グループ(AA、断酒会)主催の行事
- ウ.行政/団体主催の行事

アルコール依存症の学習会

*自助グループ・外部のアルコール関連行事への参加

専門病院主催⇒「益城病院断酒会(週1回)」

「菊陽病院女性アルコールミーティング(週1回)」

「あおば病院酒のつまみにならない話(年1回)」等

自助グループ⇒「AAさくらグループ」「AA健軍グループ」(週1回)

「居宅訓練の方の移行予定である地域の自助グループ」

「AA九州沖縄地域ラウンドアップ(年1回)」

「AAオープンスピーカーズミーティング(年1回)」

「アクションフォーラム(年1回)」

「球磨人吉地域合同断酒大会(年1回)」

「断酒会関連行事(随時)」等

支援者の行事⇒「KUMARPP(熊本県精神保健福祉センター主催認知行動療法)(2週に1回)」

「アルコール関連問題学会(年1回)」

「熊本市主催こころの健康づくり講演会(年1回)」等

居宅生活訓練事業

* アルコール依存症者の地域移行支援の**最後の仕上げ**として居宅生活訓練事業を実施している。(平成25年度～) (定員2名、実施期間2年)

- ・施設から車で10分程度の村内のアパートを2部屋借りて実施
- ・昼間は真和館内で学習し、夕食後、車で職員が入所者をアパートまで送迎
- ・夜はアパートで過ごして頂き、朝から職員がアパートに迎えに行き、真和館に帰館

* アパート近くにはコンビニ等、お酒が買える環境下であり、**2年間、地域で飲まずに過ごせるか**がポイントとなる。



居宅生活訓練実績

No.	性別	退所時年齢	疾患	障害者手帳	再飲酒なし
①	女	58	器質性精神障害（うつ）、適応障害（ギャンブル疑い）	精神2級	
②	女	51	アルコール依存症、うつ病	精神2級	◎
③	男	56	（軽度知的疑い）	-	
④	男	57	アルコール依存症、うつ病	精神2級	◎
⑤	男	49	薬物依存症、アルコール依存症	精神2級	◎
⑥	男	63	アルコール依存症	精神2級	◎→死亡
⑦	男	48	アルコール依存症、知的障害、自閉症スペクトラム障害、注意欠陥多動性障害、慢性アルコール肝障害	精神2級	◎
⑧	男	68	アルコール依存症	精神2級	○
⑨	男	61	アルコール依存症、左不全麻痺、視覚障害	精神2級、身体1級	○
⑩	男	38	アルコール依存症、うつ病	精神2級	◎
⑪	男	55	アルコール依存症、躁うつ病、覚醒剤中毒後遺症	精神2級	×→死亡
⑫	男	43	アルコール依存症（躁うつ病様状態、けいれん発作） 軽度知的障害	精神2級	◎

* 上記以外に3名の方が居宅生活訓練を実施したが、地域に戻れず。

保護施設通所事業

* アルコール依存症者等の入所者様が地域移行した後のアフターフォローを実施するために令和8年度より保護施設通所事業を開始。(定員4名)

* 事業内容(真和館の場合)は、アルコール依存症からの回復支援の継続と断酒継続のサポートであり、目標は地域に戻ってもお酒を飲まない生活の継続。

なお、アルコール依存症の回復支援だけでなく、地域生活の困りごと相談及びサポートも実施。

<令和8年4月からの実施状況>

- ・アルコール依存症の男性(43歳、令和8年4月24日退所)を実施
- ・退所先は、熊本市中央区。
- ・週3回程度、真和館に来館頂き、学習会やミーティング、就労準備訓練に参加頂く。
- ・通所手段は、職員が車で送迎(片道50分程度)を基本とし、場合によっては、JRを使用(真和館から近い、肥後大津駅までは車で送迎(片道15分程度))

施設の特徴

2.精神障がいの方が安心して暮らせる施設を目指して

- ①日常の精神状況の把握
- ②不穏の未然防止(引き金の発見)
- ③早めの病院受診
- ④カウンセリング
- ⑤学習会(統合失調症(ひまわりの会)、知的障がい(スイートピーの会)、甘いもの、たばこ等)
- ⑥個別学習(統合失調症、双極性障がい、発達障がい、クレプトマニア、アンガーマネジメント、森田療法、強迫性障がい、LGBTQ+等)
- ⑦CVPPP(包括的暴力防止プログラム)、ホスピタリティ、支援の勘所等の取組
- ⑧精神保健福祉士、公認心理師の資格取得促進

＜精神障がいの学習会＞

①内部学習会

ア.ひまわりの会(統合失調症者の学習会、平成29年5月から開催)
統合失調症がどのような病気であるかを学び、自分以外の統合失調症の方の話を聴き、対処方法を学び、自分らしさを取り戻して頂く学習会。

イ.スイートピーの会(知的障がい者の学習会、令和元年10月から開催)
知的障がいのある方は、その障がいゆえに社会常識が乏しかったり、自分の気持ちや考え方を言葉にできなかったり、他者とのコミュニケーションの取り方がうまくいかないなど、生きづらさを抱えておられる。そのため本学習会では、社会の中で衝突することなく、自分を肯定し、助け合いながら楽しく暮らしていく力を身に着けることを目指している。

②外部から講師を招いての学習会

外部から講師(精神科医、大学教授等)をお招きして、入所者様・職員ともに精神疾患について学ぶ。(統合失調症、発達障害、うつ・双極性障害等)

<心の問題への対応>

①内観療法

7泊8日の集中内観(指宿竹元病院、三和中央病院)、日常内観

*浄土真宗の「身調べ」という修養法を基に、吉本伊信が創始した心理療法
(身近な他者に対して、「してもらったこと」、「して返したこと」、
「迷惑をかけたこと」の3点を振り返る。)

②心理面接

外部の公認心理師による心理面接を実施

*小児期に逆境体験を有する人の成育過程や発達状況を知ることが、回復にとって非常に大切なため、外部の公認心理師による心理面接を実施し、その方の心のありようを引き出して頂くとともに、生きづらさの解消を図ることを目的としている。

③心の健康教室

精神を修養すること(心を養い自分を高めること)で、人・もの
に対する理解を広げ、心の豊かさを広げていく学習会

<個別学習会>

入所者様お一人お一人の特性に合わせた個別の学習会。

(統合失調症、双極性障がい、発達障がい、クレプトマニア、森田療法、
アンガーマネジメント、強迫性障がい、LGBTQ+、パソコン等)



ご清聴ありがとうございました

